

第3期中期目標（H30～35年度）の策定について

1 これまでの取組

《第1期中期目標》 ※ 法人化後の大学運営に係る仕組みづくりを重点課題に設定

目 標	<p>1 基本目標 <u>法人化の目的達成に向け着実に成果をあげるための安定した体制、仕組みの早期確立</u></p> <p>2 主な内容 <教育研究等の質の向上> ①「教育を重視する大学」として、学生に高い学力と豊かな人間性を確実に修得させて社会に送り出す仕組みの整備 ②「学生を大切にする大学」として、学生支援体制の強化と支援内容の充実 ③「地域に密着した研究を推進する大学」として、研究活動の活性化とその成果の普及 ④「地域に開かれた大学」として、地域貢献の窓口である地域共生センターの活性化等を通じ、社会人が学習しやすい環境づくり等地域貢献活動の積極的な推進 <業務運営の改善及び効率化> 理事長等を中心とした機動的な運営体制の構築 <財務内容の改善> 自己収入の増加（外部研究資金等の積極的導入）、経費の抑制 等 <その他> キャンパス移転を視野に入れた施設の機能についての検討 等</p>
実績 評価	<p>外部研究資金の大幅な増など、法人化前に比べて飛躍的に前進。目標は概ね達成</p>

《第2期中期目標》 ※ 第1期で得られた成果を基礎とし、より具体的な成果を要請

目 標	<p>1 基本目標 <u>第1期の成果を基礎に、法人が自主的・自律的に社会経済情勢の変化に適切に対応しつつ、存在感ある「地域貢献型大学」として一層の個性化を図り、県民や地域社会の期待に応える成果を着実に上げる。</u></p> <p>2 要請した基本的な取組の方向性 (1)「県立」の大学としての<u>地域貢献に係る具体的成果の創出</u> → 地域の発展を支える人材育成、地域の諸課題解決に寄与する取組の推進 (2) <u>個性・特色の明確化、教育研究の質の保証・向上に向けた取組の推進</u> (3) 大学が更なる飛躍をするための<u>組織・経営基盤の更なる強化</u></p> <p>3 主な内容 <教育研究等の質の向上> 特色ある教育の推進（学部・学科間連携教育、地域とのつながりを生かした体験型教育等）、学生の視点に立った総合的な学生支援の質向上、地域の発展を担う人材の育成、県の政策形成等に貢献するシンクタンク機能の発揮 等 <業務運営の改善及び効率化> 事務等の合理化に係る継続的な取組、教職員の能力開発 等 <財務内容の改善> 自主財源の安定的な確保（外部研究資金等の獲得）、経費の抑制 等</p>
-----	---

2 第3期中期目標の策定に当たっての着眼点

- 地域や時代のニーズに即した人材の育成や研究の推進
- 若者の県内定着に向けた取組の促進
- 県財政が厳しい中での安定した大学運営の確保・継続